2025 年 6 月 20 日

横浜市　麻しん流行情報

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

横浜市内で麻しんの発生が続いています

【2025 年第 24 週（6 月 9 日~6 月 15 日）までの概況】

- ✓ 横浜市内では、第 23 週に 2 件、第 24 週に 3 件の報告があり、2025 年 1 月からの累計は 11 件です。
- ✓ 11 件中 6 件は海外渡航歴がありますが、5 件は国内感染です。
- ✓ 麻しんは感染力が強く、手洗い・マスクのみでは予防できません※1。
- ✓ 予防には、ワクチン接種が最も有効です※1。

※1 厚生労働省　麻しんについて

【麻しんとは?】

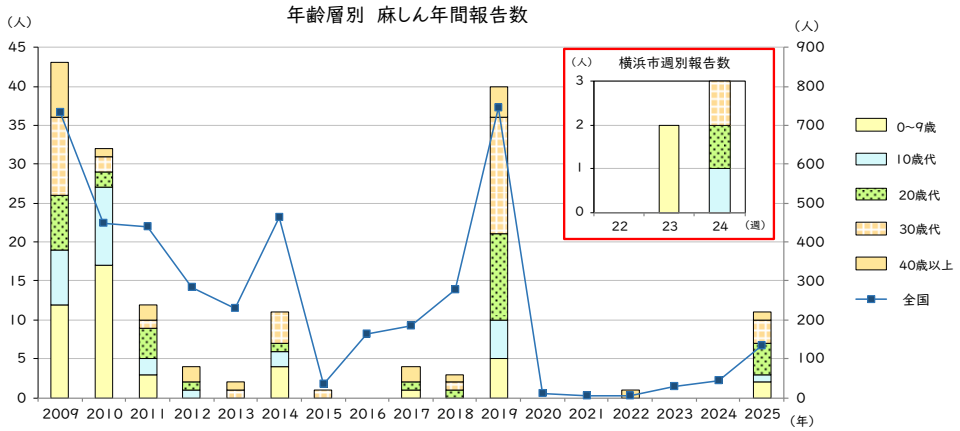
麻しんウイルスによる感染です。感染力が非常に強く、免疫をもっていない人が感染するとほぼ 100%発症します。空気感染をするため、同じ空間にいるだけで感染することがあります。症状は発熱、咳・鼻水・結膜充血（カタル症状）、口腔内の白い斑点（コプリック斑）、発しんです。肺炎や脳炎を合併すると、重症化することがあり注意が必要です。

最も有効な予防方法は、2 回※2 のワクチン接種です。麻しん風しん混合ワクチン（MR ワクチン）を確実に接種しましょう。　※2　Ⅰ期：生後 12~24 カ月、 Ⅱ期：小学校就学前 1 年間（5 歳以上~7 歳未満）

【流行状況】

国内では第 23 週（6 月 2 日~6 月 8 日）までに累計 135 件報告されています。茨城県 21 件、東京都 15 件、大阪府 14 件、兵庫県 13 件と続き、神奈川県は 10 件※3 です。

※3 神奈川県 10 件は横浜市を含む。



☞ 麻しんにかかったかな?と思ったら・・・

発疹、発熱など麻しん様の症状がある場合、麻しんの疑いがあることを、受診先に事前に電話等で伝え、受診の注意点を確認してから受診しましょう。移動の際は、公共交通機関の利用は可能な限り避けてください。

☞ 麻しんの予防にはワクチン接種を・・・

最も有効な予防方法は、2 回のワクチン接種です。ワクチン接種歴が不明な方は、抗体価の検査について医療機関に御相談ください。抗体価が低い場合には、ワクチン接種を御検討ください。

【お問い合わせ先】　横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課　TEL 045(370)9237
横浜市医療局健康安全課　TEL 045(671)2463